

アマゴツリ

呉市立昭知北小学校

三年

益村啓佑

お父さん、お母さんと、北広島町に、アマ

ゴツリに行きました。自分でつったアマゴが

風ゴは人になると聞いて、ぼくはすぐくはり

きりました。

お父さんに、えさのイワをゆりにつけて

もらって、池になげ入れました。池には、た

くさんのアマゴがいきましたか、ぼくのえさに

は、なかなかが食いついてくれませんでした。

「本当につれるかな」と、ぼくは心ほいにな

りました。バクツ。アマゴがはりにかかると、

さおがゆらゆらしました。アマゴはゆられる

のかいやで、にげようとむつしびました。ぼく

は、カを入れたさおを持ちました。さおをあ

げると、アマゴがバタバタと動いていました。

ぼくは、つやつたさごと、バかうれしくなり

ました。その後、お父さんやお母さんと、

つり勝負をしました。お父さん、お母さんは、

せんせんつれませんでした。

っけいちばんいいと、つねんち。
と言って、ぼくがつるこことになりました。一
時間半くらいかかって、アマゴが六匹きつれ
ました。ぼくが、全部つりました。家族みん
なが食べる分のアマゴがくれたので、一つれ
てよかったな。と、すずくうれしかったです。
でも、つかれました。

アマゴは、お店で、しおやまとからあげに
してもらって食いました。あつあつでした。
いつもは、ほねのついた魚は、あまり食がた

くないな。と思っ
ていたけど、自分
でつった
魚は、とてもおい
しくて、ほねま
が食がました。
お父さんも、お母
さんもおいしく
うに食がて
いる顔を見て、
「めっちゃうち
ゃおいしんだ
な」と、うれし
くなりました。
おいしかった
ので、まだまだ
食がたかっ
たです。
「あれ、おい
しかったの
アマゴのま
ぼくに
かっ
てしまっ
たみたい
だね。」